

基本施策名	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	評価責任者 (基本施策主管課長)	下水道課長 尾登 誠
-------	----	-------------------	---------------------	---------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標	快適
	政 策	暮らしを支える生活環境の整ったまちづくり

①

市民意識調査結果

満足度

3.3

2.86

2.55

3.86

4.86

1.8

必要度

②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果

市民意識調査によると、必要度満足度ともに平均よりやや高く、調査回答者の地域属性別に分析したが、大きな差異は見受けられなかった。しかしながら、市民との会合の中では、農村部については農業集落排水事業で整備が進められているが、中心部においては整備が一向に進まないとの指摘が多い。

③

基本施策の現状と課題

・生活排水対策は、単に市内だけの問題ではなく、流域全体の水質保全にかかわる重要な課題である。

・公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽等の生活排水処理施設について、計画的に整備を推進することが必要である。

・下水道の整備には、多額の費用と長期の期間が必要であり、処理区域の見直しや、個別処理方式に転換するなど、現状を踏まえた生活排水処理施設整備手法に変更していく必要が生じている。

④

基本施策の意図、今後の展望

・地域の実情に合った整備手法や十分な経済比較等の検討を行い、計画的に生活排水処理施設整備の推進を行う。

・公共下水道については、上野処理区などの具現化のための計画見直しや、小規模下水路事業などの整備推進を図る。

・農業集落排水については、事業実施地区の早期完成及び未着手地区の推進を図る。

・公共下水道事業計画区域、農業集落排水事業計画区域以外の地域においては、合併処理浄化槽の設置推進を図る。

・浄化センターでは、適切な処理が行えるよう、施設の整備に努める。

⑤基本施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード			考えられる基本施策指標候補			重点化
計画的な生活排水処理施設の整備			生活排水処理施設整備率			1
公共下水道の計画見直しや整備推進			公共下水道整備人口			2
農業集落排水の事業実施地区での早期完成及び未着手地区での整備推進			農業集落排水整備人口			3
合併処理浄化槽の設置推進			合併処理浄化槽設置済人口			4

基本施策指標名

単位

過年度実績

評価年度

目標値

ベンチマーク

指標の説明

1	生活排水処理施設整備率	目 標	%	65.5	66.3	66.7	70.7	77.2	県平均 74.9% H20	公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽・コミュニティプラントの整備率
		実 績	%	65.5	66.3					
		達成率	%	100.0	100.0					
2	公共下水道整備人口	目 標	人	16,141	16,630	16,930	17,130	17,130		H22・H23 河合地区供用開始
		実 績	人	16,141	16,630					
		達成率	%	100.0	100.0					
2	農業集落排水整備人口	目 標	人	13,663	13,503	13,435	15,570	19,170		H24 神戸地区供用開始 H25 花垣地区・依那古地区供用開始
		実 績	人	13,663	13,503					
		達成率	%	100.0	100.0					
2	合併処理浄化槽設置済人口	目 標	人	33,060	33,080	33,100	33,160	33,260		
		実 績	人	33,060	33,080					
		達成率	%	100.0	100.0					

⑥基本施策構成事務事業の評価

基本施策を構成する事務事業名				改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			重点化			
担当課	I D	事 業 名			H21 決算額	H22 予算額	H23 所要額				
1	産業建設部 下水道課	448	合併処理浄化槽設置整備事業		無	102,746	53,090	67,521			
2	人権生活環境部 浄化センター	160	施設整備事業		無	107,740	103,600	103,600			
3	産業建設部 下水道課	451	市単下排水路整備事業		無	17,889	7,647	28,950			
4	産業建設部 下水道課	478	神戸地区団体営農業集落排水整備促進事業（一般）		無	466,660	313,800	560,800			
5	産業建設部 下水道課	479	花垣地区団体営農業集落排水整備促進事業（一般）		無	394,230	212,800	360,800			
6	産業建設部 下水道課	480	依那古地区団体営農業集落排水整備促進事業（一般）		無	487,770	364,300	460,800			
7	産業建設部 下水道課	481	神戸地区市単農業集落排水整備事業		無	69,212	42,600	39,100			
8	産業建設部 下水道課	482	花垣地区市単農業集落排水整備事業		無	98,474	144,820	125,100			
9	産業建設部 下水道課	483	依那古地区市単農業集落排水整備事業		無	87,900	79,600	90,100			
10	産業建設部 下水道課	510	生活排水処理施設整備事業		有	19,921	23,244	23,244	△		
（ 以下 続紙 ）											
事業費 合計					1,852,542	1,345,501	1,860,015				

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等
該当なし		

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	・基本施策指標である生活排水処理施設整備率は、公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽等の整備人口を網羅したものであり、客観的に評価できる指標である。
2 事業構成の適当性（手段として最適か？）	・事業認可を受けている農業集落排水整備事業（一般・市単）の3地区については、概ね計画通り推移している。 ・生活排水処理施設整備事業（浄化槽市町村整備推進事業区域）については、工事件数が年々減少しており、補助の要件である10基に満たない可能性もあり、改善の必要がある。
3 役割分担の妥当性	・下水道事業の実施にあたっては、汚水処理場建設地の選定や建設改良の進捗などに関して、地元実施委員会や地域住民の理解を得て協力体制を構築強化していく必要がある。
4 総合評価（今後の展開、事業の見直し等）	・生活排水処理施設整備率は、現在実施中の農業集落排水3地区及び公共下水道1地区が完了すると、平成30年度には77.2%と想定され、一定の成果が得られる。しかしながら、基本施策名「全市的に生活排水処理施設を整備する」には程遠く、特に中心部においては整備が一向に進まないとの指摘が多い。このことから、本年度整備計画の一部見直しを実施し、事業の推進を図る。